

雑木林は秋の装い



キチジョウソウ

花は、特にトネアザミが美しく、キチジョウソウ、ミズヒキ、ギンミズヒキ、ヤブタバコ、ツククサなどが咲いていました。実はカラスノゴマ、ヤブミョウガなどが、鳥もヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリと先月よりもよくさえずっていました。

入間・樹林の会

10月15日、いつものように2班に分かれて4ヶ所の方形枠調査を行いました。方形枠調査は、2002年度からはじめて4年が経ち、調査にかかる時間も以前なら、午前中いっぱいかかってようやく終えたのが今では1時間ほどで終了し、保全活動の時間も多く取れるようになりました。

しかし、メンバーの中には、調査がはじめての人もいるので教えあいながらの調査になります。被度・群度の表をみながら、植物の同定をしていくのですが、そのときに昨年、コカ・コーラ環境教育賞の受賞を機会に購入した図鑑5冊がとても役に立ちます。図鑑で確認するおもしろさや図鑑をみる楽しさを、みんなで改めて知るようになった1日でした。

市民との協働をすすめる「雑木林塾」に

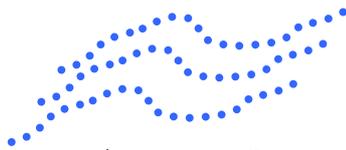
同じ日、9月に開講した雑木林塾の第2回講座が入間1丁目樹林地をフィールドにして実習と座学がおこなわれました。根本さんを講師に迎え、樹林地の植生調査の必要性について、実践活動の例として入間・樹林の会の活動について紹介しました。「人が入りたくなる林」を将来像としてゆっくりと林の保全をすること、楽しみながらの継続した活動、参加者の合意形成を大切にしながら行政との協働の実践を、職員とともに試行錯誤しながらボランティアで活動してきていることを伝えました。入間・樹林の会の成り立ちと活動経過は、ちょうふ環境市民懇談会の設立シンポジウム・雑木林保全活動と同時進行です。昨年、策定された環境基本計画では、「市民との協働」が掲げられています。行政の役割が今、大きく問われてきています。国分寺崖線の保全というマクロな環境保全と調布市内樹林地の保全活動には、情報の公開・提供・連携が欠かせません。



方形枠調査を学ぶ雑木林塾生たち

市民が保全活動をする時に、雑木林保全の基本や調査の必要性、安全確保について等、雑木林塾での学びを生かして、積極的に保全活動に参加してくれることを期待しています。

そして、行政が市民活動に支援体制をどのようにとるのか、あらためて考えていく機会にもなりました。(安部 宝根)



水のお話 田んぼの学校 番外編

田んぼの今年の作柄は？

田んぼの学校の授業も終盤を迎え、いよいよ収穫に向けての準備を整える時期となりました。稲刈り、はざ架け、天日干し、脱穀と毎週のように作業が続きます。残念ながら、作柄については次回のご報告になると思いますが、日照不足による「いもち病」も発生せず、まずは例年なみでしょう。今月末ごろまで、はざ架けされるお米は、案山子やテグスの効果も薄く、今年もスズメに食べられ放題です。



緑と水と風の谷（ナウシカではないけれど）

話題としては時期遅れですが、調布では、夏でも涼しい場所がいくつもあります。その中でも特に夕方以降に冷気を感じる地域があります。野川公園や神代植物園、深大寺五差路から青渭神社にかけての三鷹通りなどです。その理由は、崖線に沿って標高が高く、水と緑に覆われた土地が多いことはいまでもありません。

その共通点には芝生広場があげられます。これは特集番組の受け売りですが、常緑樹の林に比べ、芝生は日中の気温が高くなる半面、夜間の放射冷却効果が高く、重くなった冷気が周囲に流れ出すという仕組みです。（現在、新宿御苑で調査、研究中とのこと）。冷たい空気は大通りや谷地形、河川沿いを伝って広がります。また風の流れについては、大きな河川を渡る海・山風や緑地のつながりの関係などからも調査が行われています。風が通るために必要な条件は、遮蔽物が無いこと。今後、高層マンションなどの大きな建物で遮られない限り、調布はこれらの条件に恵まれており、ヒートアイランド現象の少ない環境にあるといえます。野川沿いを散策した経験がある方は周知のことと思いますが、秋の風情の中、市街地との風と気温の違いを感じてみてください。これからの緑化、水辺再生などは、省エネにも結びつくことです。こうした調査、研究が調布でも行われ、水と緑の環境保全、再生に反映、実践されることを期待しています。（田んぼの学校 こんどう）

里山の保全 ~ 市民のうごき 10月

環境モニター

10/7（土）参加者 8 名

（他スタッフ 5 名）

午後からエコクラブのある小池先生と共に久しぶりに多摩川の植物観察。だが前日まで降り続いた雨で増水し、ワンドまで降りることはできない。仕方なく土手下の広場を歩き、目についた植物を記録。アゼガヤツリ・ハマスゲ・ヌマガヤツリなど河原らしい植物を観察できた。背丈よりおおきなアキノノゲシもありビックリ。



カニ山の会

10/14（土）参加者 9 名

大学の体験学習とレポートを兼ねた学生さんが特別参加。北と南の 2 班に分れ、植生調査を行った。陽の当たる林のヘリ部分にはイヌコウジュやイヌタデ、サルトリイバラ、オンドコロなど色々な植物が観察されたが、林内ではアズマネザサとヤブランが主な植物でその他の植物はあまり目につかない。秋の植物調べは初めてだったので、メヒシバ・アシボソ・シマスズメノヒエといったイネ科の植物も記入できた。その後あまりに暗い南低地の樹木について、枝おろししたいものを選定。次回以降にシュロも含め少し整理するこ

ととした。最後に 10/29 のイベント用の薪拾いをしてブルーシートをかけた。



お腹に卵を抱えた見慣れないクモを捕獲！

若葉町 3 丁目第 3 緑地

入間地域福祉センター前の梅林のある畑の持ち主、昭和元年生まれの永野さん。若葉町とその周辺の昔のようすを伺う機会が 10 月 8 日に入間樹林の会や実篤記念館の方々合わせて 20 人の参加で実現しました。貴重なお話に緑地管理の原点を考えさせられた 1 日でした。（中原）

こどもエコクラブ 10/7(土) 第3回 多摩川の野鳥、秋の虫、魚たちの観察

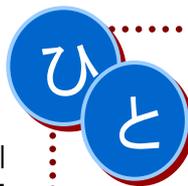
前日の大雨で多摩川は増水。17人の子ども達にくれぐれも川へは近づかないことを注意してから府中用水合流地点へ。事前にサポーターが仕掛けていた魚取りのしかけを引き上げてみる...残念ながら収穫はなし。気を取り直し、夕方懐中電灯を頼りに歩く道を明るいうちに下見。魚の観察の代わりに野草の観察もおこないました。

右は野草に産み付けられたクモの卵。子ども達は何度も足を止めて虫取り網を振っていました。最初は逃げられてばかりでも気がつくともみんなの虫かごは虫でいっぱい。

次は二ヶ領上河原堰。滅多に無いほど増水した多摩川を見てから土手に座り、双眼鏡の使い方を習い野鳥の観察です。送電線には百羽近いカワウがとまっています、その重みで電線がたるんでいました。小池講師から「見たいと思ったところをパッと双眼鏡の視界に入れられるように頑張ってみよう」と言われ、子どもたちは真剣そのもの。

その後自然観察緑地まで戻り休憩していると、夕日が辺り全体を金色に染めていきます。夕日が完全に落ちた頃、虫の声を聴くため懐中電灯片手に出発です。子どもたちは下見した道を覚えているのでしょうか。「ルルルルル...」と低い声で鳴くのが「カンタン」、木の上から聞こえる「リューリュー」と大きな声で鳴く虫は「アオマツムシ」。みんな耳をすませます。子どもたちは講師から言われなくても、採った虫たちを緑地に返していました。もう自然を守ることの大切さを理解しているのでしょうか。

(環境保全課 早野)



田中健雄さん

深大寺周辺の四季の移ろいにひかれ、調布に越してきて16、7年になります。とくに冬木立の凜としたただずまいと夏の蝉しぐれが好きで、

そば屋の緋毛氈に腰掛けるとゆったりした時間の流れを感じることができます。

私は巨樹が好きで各地を探訪していますが自然災害や人為的理由による消失があとをたちませません。調布でも琥珀神社のクロマツが枯れ、甲州街道沿いのイヌザクラの大木が伐られたのは記憶に新しいところです。

6年前、マダガスカルで出会ったバオバブの木は圧巻でした。その異様な形と存在感にすっかり魅せられ現地のバオバブ育樹の里親にもなりました。また広葉樹の森を増やそうと、ドングリを実生から育て、山へ植樹する活動にも共感し、ボランティアとして参加しています。

当、ちょうふの自然だよりでも紹介されている通り、佐須地区の田畑が宅地化により急速に減少しつつあります。調布で最も里山らしい景観を残しているといわれるカニ山と佐須用水の流れる一帯は、なんとしても守っていかなければとの思いを強くしています。マダガスカルのバオバブ、広葉樹の森、そしてカニ山は大きな緑の回廊で繋がっているはず。カニ山での活動にはそんな思いを込めながら取り組んでゆきたいと思っています。(現在カニ山の会メンバー)

市民のうごき 10月

ちょうふ環境市民懇談会 運営会議

10/10(火) 18:30~21:30
たづくり301会議室

情報提供

- ・10/29のイベントに30人の申込があった。
- ・第2回雑木林塾は入間樹林で行う。3/4には塾生と市民交流会を予定。
- ・10/14.15に「消費者まつり」が行われる。
- ・10/16に第3回雑木林連絡会を予定
- ・旧関東村緑地を見学したいとの申し入れが断られた。
(注)後日、「国有地であることと、国が樹木調査をしている段階なのでご理解いただきたい」とのコメントがありました。

議事 1

10/29の野外イベントについて詳細を検討

議事 2

- 「環境学習支援事業のルールづくり」について
- ・懇談会運営会議の市民委員による議論(9/19)の結果を報告。
- ”市民との協働のしくみの再構築の必要性”、”環境市民センターの基盤作りへの協力の仕方検討”、”現在の懇談会だけで学習支援ルールづくりは行わない”旨の説明が行われた。
- ・懇談会のあり方を見直し、要綱を検討する必要性
- ・環境基本計画に盛り込まれた環境市民センターの運営に関しては今後の懇談会の方向性にかかっている。

雑木林連絡会議

10/16(月) 18:30~
たづくり301会議室

主な内容

- ・10/18 国分寺崖線保全フォーラム
- ・10/29 歩いて見て食べて知る雑木林の恵み (ちょうふ環境市民懇談会と市内環境保全活動グループの有志)
- ・森の展覧会 11・23~26 (布田崖線緑地凸凹市民の会)
- ・雑木林塾最終回のシンポジウムへの誘い
- ・入間町緑地、若葉町緑地の公園計画の進捗状況
- ・スズメバチなど危険な生物とのつきあい方といざという時の対処方法の勉強会の提案

市民活動カレンダー & おしらせ

全ての会で新メンバー随時募集中!

環境モニター

11/4(土) 10:00~12:00

集合場所: 野川 車橋

内容: 野川の植物観察

持ち物: 図鑑・筆記用具・カメラなど

市内各地の植物調べと記録を行っています。

問合せ: 環境保全課 042-481-7086

カニ山の会

11/11(土) 10:00~12:00

集合場所: 深大寺自然広場、野草園横

内容: 東樹林地保全

定例活動日: 第2土曜。今回は雑木林塾生を迎えて一緒に保全活動を行います。直接集合場所へおいで下さい。(年会費500円+保険料)

問合せ: 環境保全課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地 - 保全活動

11/12(日) 10:00~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 樹林地の整備

第2日曜を活動日としています。

問合せ: 緑と公園課 042-481-7083

人間・樹林の会

11/19(日) 9:30~12:30

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 保全活動

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ: 環境保全課 042-481-7086

会議日程

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

11/13(月) 18:30~20:30

たづくり 302 会議室

内容: 10・29 イベントの反省ほか
会議にはどなたでも参加できます。



編集後記

編集担当の相方は、今頃九州で凧上げ。秋空は高く気持ちがいいだろうな。多摩川でもそんなイベントがあってもいいかも。(編集当番: 鍛冶)

多摩川クリーン作戦

11/12(日) AM 8:00~AM 9:00

場所 多摩川河川敷

内容 地域の住民・事業者・団体等との協働による清掃活動

多摩川の自然は調布の財産。皆で守っていきましょう。

喫煙マナーアップキャンペーン

11/1(水)・2(木)・6(月)・7(火)

毎朝夕、市内全駅で歩行喫煙・吸殻のポイ捨て禁止の呼びかけを行います。

ひと頃よりかなり減ってきたポイ捨てですが、尚いっそうのマナーの向上を目指します。

凸凹広場の秋のイベント

森の展覧会



11/23(木)・24(金) 10:00~16:00

持ち込み・飾り付け、現地での作品作りもOK!

11/25(土) 10:00~16:00 展示

11/26(日) 10:00~12:00 リース作り

場所: 凸凹山(若宮八幡向かいの緑地)

イベントに関する問合せ: 大久保 484-6740

石原 080-1882-7812

緑と公園課: 042-481-7081

ブログ紹介 <http://blog.livedoor.jp/fgr/>

凸凹山公園ワークショップで検索できます

定例活動日: 毎月第4日曜

シロバナマンジュシャゲ
ちよつと時期が過ぎましたが、今年はクリム色のヒガンバナを沢山見ました。自宅近くの駐車場脇でもみことな花。
ネット検索してみるとヒガンバナとシヨウキズイセンの交配種とかシヨウキランの交配種とかが書いてあります。もとは九州にあったものだそう、どうりで子供の頃は見たことがありません。近頃あまりめずらしくなくなってきたのは温暖化で関東にも増えてきたということでしょうか。それにしてもヒガンバナは三倍体と言って種ができないのは有名な話。それなのに去年まで気づかなかったところに急に咲いていたりする。球根も歩くの? 不思議な花です。



「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~ 調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます ~

市公式HP [くらしのガイド](#) [環境](#) [環境学習](#) [自然だより](#)